



令和8年9月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 大塚 玲華

「大切な命を守るために」

園長 大塚 玲華

今日からいよいよ2学期が始まります。子供園では、子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。

夏の間には、熊本地震や千葉県の大豪雨など大きな災害があり、多くの方が被害に遭われたという悲しいニュースがありました。大切な日常を失い、不安な日々を過ごされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害は、いつどこで起こるかわからないものです。予測できないものであるからこそ、日頃から様々な備えをしておくことがとても大切です。

堀ノ内子供園では、年間を通して、避難訓練を行っています。年間の計画の中には、地震や火災、大雨など、様々な災害の想定のある訓練があります。そして、訓練をする状況も、遊んでいる時、集まっている時、プールに入っている時、午睡時、長時間保育が行われている時、教職員の体制がいつもと違う時、放送機器が使えない時、園内の安全が確保できない時、避難訓練の予告の有無など、様々なものになっています。

様々な想定や状況で行うのは、災害がいつどこでどのように起こるか、わからないからです。災害の内容や状況が違えば、避難経路や避難場所が違います。また、教職員の役割や動きも違ってきます。

どのような状況でも大人も子どもも迅速に、自ら適切な行動ができるよう、様々な想定で行い、訓練を重ねています。訓練を重ねる中で、子どもたちは、放送が鳴るとすぐにしゃがみ、じっと放送や近くにいる教職員の話を聞き、災害の内容によって頭を守ったり、口をハンカチで押さえたり、防災頭巾を被り、指示が出された場所に速やかに避難するようになってきました。誰も話をしたり、急いで避難しようと走ったり、忘れ物を取りに保育室に戻ったりしません。どの子どもも真剣に毎回の訓練に参加しています。

訓練を行った後は、子どもたちと振り返りをします。どのような想定だったか、その想定の時にはどのようなことに気をつければ良いか話をし、子どもも自分で考え行動できる力を育てています。

保育後に、教職員だけでも訓練の振り返りを行います。実際に訓練を行ってみて、子どもたちの安全が確保されないような状況がありそうだったか、あった場合は避難場所や避難経路、教職員の役割や動き、子どもたちにどのような安全指導を再度行うことが必要か、などを話し合います。また1年間の終わりに再度振り返り、年間で不足している訓練の想定や状況を掘り起こします。そして毎月・一年の振り返りで課題となった点、修正が必要な点を今後の避難訓練の内容に反映させ、より良い計画のもと、訓練が行えるようにします。

避難訓練は、子ども自身が状況に応じて、落ち着いて適切な行動をし、自分の命を守ることができるようにするための訓練であると同時に、大人も適切な指示や行動をし、子どもたちの命を守ることができるようにするための訓練でもあります。

今月は、保護者の方も参加する引き取り訓練があります。一学期に行った引き取り訓練とは違い、子ども安全連絡網「すぐーる」の配信がない状況での訓練になります。大きな地震があった時には、連絡を待たずお子さんを引き取りに向かう、「すぐーる」などの連絡機能が使えなくなる状況もある、ということを想定して訓練を行います。ぜひそのような状況になることもある、ということを念頭に、訓練への参加をお願いします。また、引き取りカードや引き取りに向かうまでの安全な経路、適切な服装などの確認をお願いします。

子どもも大人も様々な想定のある訓練を行い、もしもの時に迅速に適切な行動をし、一人ひとりの大切な命を守ることに繋がってほしいと考えます。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

2学期が始まりました。久しぶりのうさぎ組での生活、友達や先生との再会を喜んでいきます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 興味のあることや同じ場にいる幼児と関わって遊ぶ。
- 伸び伸びと体を動かす心地良さをを感じる。
- 保育者と一緒に園生活の仕方を思い出しながら、身の回りのことを自分でしようとする。

久しぶりにうさぎ組としての生活が始まります。身支度などを子どもたちと一緒に確認しながら進めていったり、1学期に楽しんでいた遊びがまた楽しめるような環境を用意したりして、園生活を思い出せるようにしていきます。自分のやりたいことを楽しむ中で、同じことをしている周りの幼児の存在を嬉しく感じ、関わって遊ぶことも楽しめるように支えていきます。また、体を動かす遊びや活動を取り入れ、「楽しい!」「気持ちがいい!」と感じられるようにしていきます。

2学期も「子供園ってやっぱり楽しい!」と思えるように、一人ひとりと丁寧に関わっていきます。少しずつリズムを取り戻していけるように、ご家庭でもゆったりと関わってあげてください。

ぱんだ組

2学期が始まりました。友達や保育者と久しぶりに会えたことを喜んだり、夏の思い出を自分なりに伝えてみようとしたりしています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- したいことや保育者や友達のしていることに自分から関わって遊ぶ。
- 友達と関わる中で、自分の思いや考えを言動に表す。
- 保育者や友達と一緒にのびのびと体を動かそうとする。

友達と同じものを身に着けたり、同じ動きをしたりして関わりながら、言葉や動きで思いを出したり、相手の気持ちを感じたりすることができるように援助していきます。

暑い日も続きますが、遊びや学級の活動の中で、体を動かす心地良さやみんなと一緒に動く楽しさを繰り返し味わえるようにします。

2学期から降園時間が14時となり、ぱんだ組で過ごす時間が長くなります。無理のない生活の流れを大切に、少しずつ慣れていけるように支えていきます。疲れが出ることも予想されますので、ご家庭でもゆったりとお過ごしください。

きりん組

2学期が始まり、久しぶり全員が顔を合わせました。夏の思い出を話したり、一緒に遊んだりすることを楽しんでいます。1学期に楽しかったことや夏の思い出を再現したりして遊びながら、きりん組での生活リズムを取り戻していきます。

今月は次のことを重点的に指導していきます。

- 様々な運動遊びに取り組む中で、力いっぱい走ったり、踊ったりしながら自分の力を発揮する。
- 共通の目的に向かって、みんなと気持ちや力を合わせる楽しさをを感じる。
- 生活の流れに見通しをもち、自分から進んで取り組む。

様々な運動遊びに取り組む中で、一人ひとりが体を動かす心地よさを味わえるようにしていきます。運動会に向けた取り組みも始まります。自分の力を出す楽しさや、勝つうれしさ、負けた悔しさ、友達と気持ちや力を合わせる楽しさを感ぜられるようにしていきます。体を動かすことが増えます。生活リズムを整え、毎日元気に楽しく遊びや活動に取り組めるようにご協力をお願いします。

